

海藻の種まきでブルーカーボンを創出！

～宗像漁協、九州大学、トヨタ自動車九州（株）、水産高校、福津市と
県が連携して実施します～

海藻に吸収・固定される二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、脱炭素社会の実現に向けた大きな役割が期待されています。

県では、ブルーカーボンの創出を推進するため、筑前海沿海の漁協や市町、九州大学等で構成される「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を立ち上げ、海藻を食害するウニの除去や、海藻の種まきの取り組みを進めています。

この度、福津市津屋崎において、協議会会員である宗像漁業協同組合津屋崎支所、九州大学、トヨタ自動車九州（株）、福津市、県が、海藻の種を海で育てるため、漁網に海藻の種苗を挟み込み、海に設置します。

1 日時

令和7年1月20日（月）10時30分～13時00分（受付10時00分から）

※荒天時は、「海藻の種苗の挟み込み」のみ実施します

2 場所

宗像漁業協同組合津屋崎支所（福津市津屋崎4丁目47-8）及び近隣の海

3 参加者

宗像漁業協同組合、九州大学、トヨタ自動車九州（株）、福岡県立水産高校、福津市、県

4 内容

津屋崎地先で高校生などが海藻の種苗を漁網に挟み込み、漁業者が船で海に設置。

《当日のスケジュール（予定）》

10時30分 海藻の種苗の挟み込み

11時30分 出港

11時45分 漁網の設置

13時00分 帰港



海藻の種苗の挟み込み



沖に設置した漁網

★ 報道機関の皆さまへ

当日は、漁網に海藻の種苗を挟み込む様子や、船の上から、海に網を設置する様子を撮影できます。

こちらで取材用の船を準備しますので取材を希望される方は、1月17日（金）10時までに上記担当者までご連絡ください。

また、荒天により出航を延期する場合は、後日海に設置した漁網の写真を提供します。

〈参考〉ブルーカーボンの創出で「1石3鳥」

